

ぷくぷく通信



バレンタインによそおわせて、たくさんのお気持ちを伝えてきたなあと思っています。
私だけが勝手に裸ぎをしていたのですが、今年もたくさん買い込んだチョコレートに、かすかすの役目をしよわせています。なかなか言葉にできない照れくささをカードやチョコの包装に託して。

めくるとかさかさとしひび割れた音をするページだけ、ストーブも消えて薄暗い3年6組のある机の中に、朝早くに登校して忍ばせたチョコレートが置き去りにされてはいないかと、ドキドキしながら確かめに戻りました。あっけらかんと義理チョコなんか混ざって思いいっぱいのチョコをカモフラージュすることを知るはるか昔のページ。二つ結びが似合った田舎の中学生だったよ。

今年もやっぱり大寒の日をはずさずに北陸は雪国になっています。色とりどりの長靴が社員玄関に並び、雪かきには体力勝負の何日かですが、チョコをお届けするころは、少しずつ何かゆめみ出す春の初めでしょう。アドレスが1年でいちばんいそがしくさせていたこの2月のはじめに、すこし目を上げてチョコレート詰めをしている私たちをご想像ください。そして笑顔いっぱいでお仕事いただきにうかがいま〜す！！

代表取締役
中山 雅美

2次元バーコードを ご存知ですか？

2次元バーコードとは、従来の線的な1次元のバーコードに対し、水平と垂直の両方向に情報をもつバーコードです。最近ではテレビCMや名刺でもお目にかかることもありますので、ご利用されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。下にアドレスの住所など基本情報をバーコード化してみました。携帯電話などでスキャンしてご利用ください。



アドレスの住所データと、
今回のアンケートです



- アドレス・本社 〒921-8041 金沢市泉1-1-7
Tel.076-247-2533
- 東京 〒169-0075 新宿区高田馬場3-25-3-1F
Tel.03-5330-6873
- 兵庫 〒664-0001 伊丹市荒牧5-13-8-402
Tel.072-777-6564
- 富山 〒939-8066 富山市朝菜町5-10
Tel.076-423-5380
- 東海 〒466-0022 名古屋市昭和区塩付通3-15
Tel.052-842-2672
- 麹町サテライト 〒102-0083 千代田区麹町4-8
クリスタルシティ西館



お電話は ☎ 0120-47-2533まで

2005.02.14

ADDRESS VOICE



No.27

~ときめきハートビート!バレンタインなアイツ号~

ADDRESS+PLUS
Total Service Centre

〒921-8147 金沢市大額1-342-3
TEL.076-298-8585(代) FAX.076-298-7665
URL:<http://www.adrs.co.jp/> E-mail:office@adrs.co.jp

編集・発行人/内山 泰正

チョコレート菓子は、自分で作ることを思うと大した種類も思いつかないのだけど、売り場で豪華に並ぶバリエーションは数え切れないほど。見ているだけでもなんだか気分が華やかになる、そう思うのは私だけ？
けれど、選ぶのは楽しくても、渡すのがこれまた一苦勞。それが義理チョコであっても、何となく手渡すきっかけがつかめず、持っていった形のまま持ち帰って、結局自分のお腹に収まるなんてこともあったり。自分の勇氣と格闘してはいけない、女の子にとってはちょっとびり試練の日でもあります…。 <TTL事業部 角目>



贈った数よりも贈られた数が多い。何ってバレンタインデーのチョコの数です。あれは中学生のころ、部活の後輩からもらったのが最初。ご丁寧に後輩にも下駄箱に忍ばせてありました。そして学生時代のバイト先で、これまた年下の女の子から手作りチョコを渡されました。

社会人となり、暗黙の了解から義理チョコを配付しない職場だったのですが、そんな中でも気がつく女性っているものです。一人一人にチョコを手渡し、おじさま方に大変喜ばれておりました。微笑ましい姿だね～と感心しながら自分の机に目を戻すと、置いてありました、チョコが。こうして、贈られたチョコの数が着実に伸びていったわけですが、しかし何とものありがたいことですね。お返し探しに奔走するホワイトデーも含めてバレンタインデーの思い出となっています。 <営業部 藤田>

先日、歌人の依万智さんの登場される「テープおこし」がありました。衝撃的な文壇デビューの頃にちょうど学生時代をおくっていた私も、当時彼女の本を手にとっていました。せわしない社内で、ふと懐かしい思いがよぎります。「嫁さんになれよ」だなんてカンチューハイ二本で言ってしまうの今回のためにバレンタインデーの歌を探してみました。バレンタイン君に会えない一日を齋(いつき)の宮のごとく過ごせり
当のバレンタインデーに都合のできた彼氏。その彼氏に会うこともかなわず、うがなく、しかしおかげで穢れなく一日を部屋に籠もる、という情景でしょう。もう想像もできないのですが、私の妻にもそんな頃があったのかなと思うと、(今はさておき)その年頃だった頃の彼女が好ましく思えます。 <営業部 草光>



高校生のころ好きだった子に義理チョコをもらいました(本命ではないところがさびしい)。義理とはいえうれしかったので、大事に何年も食べずにとっておきました。時が過ぎ、彼女の記憶とともにチョコの記憶も消え去ってしまい、そのチョコがどこへいったのかわからなくなってしまいました。そんなある日、その彼女とばったり...以下次号！ <DTI事業部 内山>

うれしはずかし第3弾

バレンタインといえば...

～食いしん坊万歳！～



バレンタインというイベントに一番心をときめかせたのは、私の場合、小中学生のころでした。クラスで気になる男の子に、どんなチョコを渡そうか、どんなチョコなら喜んでもらえるかと考えながら、売り場をぐるぐるめぐり、やっと決めたチョコ。その日まで大事にしまっておくのですが、ほとんど渡すことなく終わってしまい、2～3か月後に結局自分でこっそり処分することになるチョコ。でも、チョコを選びながらあれこれ考える時間は、とても楽しかったように思います。歳を重ね、受け取ってもらえるかどうかとドキドキした気持ちとはあまり縁がなくなりましたが、バレンタインデーは日ごろの感謝の思いを伝える日として、お世話になっている方々や家族にチョコを渡したいと思っています。相手の顔を思い浮かべながら、一つ一つ吟味して選ぶプレゼント。時間はかかるけれど、その人の笑顔が見たくて、今年もチョコを選びます。 <TTL事業部 古本>



バレンタイン、バレンタイン...という世の中の喧騒に私も逆らうことなく巻き込まれていますが、私の心を騒がせるのは、恋ではなく食欲。最近ではHPを検索しながら、おいしそう～を連発して見入っている。去年は、GODIVAのアイスクリームを発見。ハートチョコレートミルクをいただきました。今年は何が見つかるとか。そんな期待でわくわくすることこのごろ(^.^)今年の友チョコはモロゾフのベビービー、ベビーキャタピラーを購入予定。「めっちゃかわいいー」(高1娘のまね)です。義理チョコは同じくモロゾフのトリュフデトリュフ。自分用はザッハトルテを買おうかな～えっ？本命は？ <管理部 木村>



バレンタインデーというイベントを知ったのは、確か中学の時です(田舎者です)。当然、義理チョコというものもなく、私には、全く無縁のイベントでした。しかし、年をとるにつれて、ぼつぼつ義理チョコが増え、今では、人並みに(人並みってどれだけ?)もらえるようになりました。ん？よく考えてみると、義理チョコしかもらったことがないかもしれない。さびしい！今年も義理チョコ集めに奮闘する予定の山内であった。 <専務取締役 山内>



「チョコレートを嚙んで食べると虫歯になる」と両親から聞いて育った友人は、生まれてこのかた一度もチョコレートを嚙んだ事がないそうです。上顎と舌でゆっくりと溶かしながら味わうとのこと。少しでも早く次を食べたい私には到底できずともありません。ところで最近では少しづつ日本でもヘーゼルナッツ入りチョコレートが出てきて、嬉しい限りです。「ヌテラ」というチョコレートスプレッドもおすすめですね。 <業務部 久田>

「義理チョコ」「友チョコ」「自分チョコ」が勢いを増す中、「本命チョコ」で片思いの人にチョコに思いを託して気持ちを伝える。これぞバレンタインの王道でしょう。寝ても覚めても心に浮かんでくる大好きな人に、St.Valentineの力を借りて、口から飛び出しそうな胸の鼓動を押さえるつチョコを差し出し、いっぱいいっぱい考えてきた言葉を口にしようとした瞬間に、にっこり笑って何も言わずにhug。きゃああああ～!!...ウン十年前に戻りたい私です。 <TTL事業部 石蔵>

